



「カレーの日」を行いました

10月23日、飯野コミュニティセンターにて「カレーの日」を実施しました。今回は災害時に役立つ防災をテーマに、「ハイゼックスを使った非常食づくり」、「新聞紙スリッパづくり」、「洋服を使っただの簡易担架づくり」の3つを体験してもらいました。ポリ袋でご飯を作る体験や、身の回りのものが災害時に役立つ道具として使えることなど、楽しく防災について触れていただけたのではないかと思います。

ボランティアとして協力いただいた、「飯野高校生活文化科」の皆さん、「えびの市食生活改善推進協議会」の皆さんご協力ありがとうございました。

みやざきボランティア体験月間2021



上江中学校生徒11名

ちょいボラ体験
“お年寄りの”
「困りごとお助け隊」



加久藤中学校生徒14名



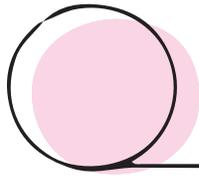
真幸中学校生徒17名



一人暮らしの高齢者宅を訪問し草取りや窓ふきなどを行うボランティア活動に、市内の中学生55名が参加して下さいました。
中学生の頑張りに感謝です。これからの活躍を楽しみにしています。



飯野中学校生徒12名



暮らしねっとサポーター 養成研修を開催しました。



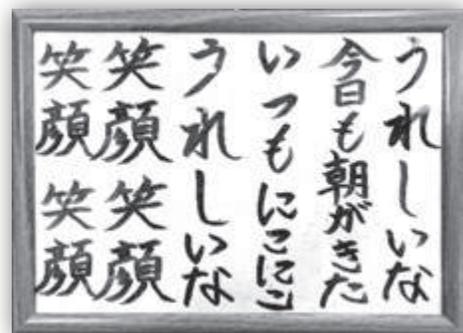
共に助け合い、楽しく学び合う研修

令和3年10月18、21、25日の3日間、「困った時はお互いさま！」の助け合いの気持ちを大切に、地域の助け合いについて学び合う、暮らしねっとサポーター養成研修を開催いたしました。今回18名の意欲ある方々の参加があり、楽しく学び合うことをモットーに、助け合いの意識を高めていただく学習となりました。参加者の皆さんが今後、地域の助け合い、支え合い活動に積極的に参加いただき、これからの自分たちの将来のため、そして、地域の後継者に繋いでいけるような仕組みができていくことを期待します。

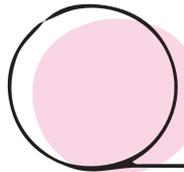


自分の10年後、20年後を想像してみてください。
自分の地域、ご近所の様子はどうなっていますか？
これからますます少子高齢化が加速するえびの市では、生活の困り事が一気に増えていくでしょう。
そんな時、ちょっとした困り事は、住民同士で助け合う仕組みづくりが大切です！

今こそ、地域で真剣に考えましょう！



参加者の方より3日間がとても刺激になったとお礼に素敵な言葉をいただきました。ご参加いただき、ありがとうございます(^^)



こども宅食えびの「田の神さあの贈りもの」 毎月1回実施しています。



社会福祉協議会では、毎月第4木曜日に、市内の子育て中のご家庭を対象に、こども宅食（食材を自宅に届ける）「田の神さあの贈りもの」を実施しています。さまざまな理由で、生活にゆとりがなく、大変だと感じておられる方々、ぜひご利用ください。詳しくは、社会福祉協議会までお問合せ下さい。また、右記のQRコードからも詳しい状況と申し込みができます。



仕分けボランティアの方々

現在、お米や野菜、保存食の寄付を 募集しています！

子育て、一緒に
応援しませんか！

こども宅食事業および生活困窮者の方々の食糧支援として活用させていただいております。現在も市内多くの農家様、また、企業様にご協力をいただいております。今後も継続的な事業をめざして、お米や野菜の確保が必要と考えています。

趣旨をご理解の上、ご家庭に余っているお米や野菜等がありましたら、社会福祉協議会までご連絡ください。

野菜につきましては、受け取り時期を希望させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

あわせて、学用品等の支援のためにお金の寄付も受け付けております。



支援の輪が広がっています！



今年9月、飯野高校生が現在、フードバンクについて学習しているとのことで、先生を通じて、えびの市のこども宅食について、お話をいただきました。高校生に協力できることはないかということで、早速、生徒さんが校内に呼びかけて、食料を集めてくれました！9月のこども宅食で配布させてもらっています。

高校生の熱い気持ちに感謝！
ありがとうございます。



子どもたちの喜ぶ顔を
思い浮かべながら、
お菓子を準備して
くださったとのこと。

ありがとうございます。



ボランティア 団体紹介 『NPO法人 えびの市国際交流協会』

理事長 田内 四朗

活動内容

当協会では、語学講座や外国の方との各種交流会や異文化交流、カンボジア現地交流活動、上江小中学校とカンボジア児童との絵画交流等を行っています。国際交流や海外に興味がある方は、是非一緒に活動してみませんか。



個人ボランティア紹介

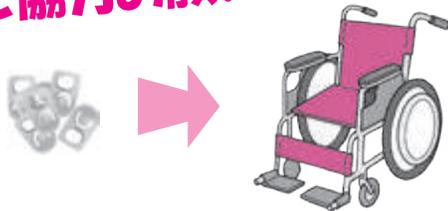
仲里 宏美さん（上原田）

仲里さんは、昨年からはまった「わくわくお出かけサロン」のボランティアとして、健康チェックや利用者の方の買い物支援を行われています。趣味の手芸を活かし、開催日を記入した手作りカレンダーを、毎回利用者の皆さんへお配りする活動を続けておられます。利用者の皆さんは季節感のあるカレンダーを大変喜ばれており、次の開催を心待ちにされています。また上原田自治会の支え合い事業でも利用者の皆さんにお配りされているとのこと。

アルミプルタブ・ペットボトルキャップ回収事業

- アルミプルタブを集めて、車いすに！
- キャップを集めて開発途上国の子もたちにワクチンを！

ご協力お願いします



プルタブ800キロで、車いす1台になります
※プルタブはアルミに限ります
※ペットボトルキャップはきれいに洗い、シールは剥がしてください



宮崎市よりプルタブ約50キロをお届けいただきました。ありがとうございました

2021.7.20



えびの市社会福祉協議会に回収BOXを設置しています

アルミプルタブ・ペットボトルキャップ回収事業（収集ボランティア）は、誰もが身近に取り組みやすい「ボランティア活動」のひとつです。

